

平成12年度事業報告及び収支決算書 概要

1. 平成12年度事業報告

財団法人致道博物館は1950年（昭和25年6月14日）創立以来おかげさまで、創立50周年を迎えることができました。50年の歩みは決して平坦なものではありませんでした。1961年建設した企画展示館の銘板に「聚力結びなして功を竣う」とあります。地元はじめ多くの皆様からお寄せいただきました温かいお心、ご協力ご支援が今日の致道博物館にいたりましたこと心より厚くお礼申し上げます。

節目の年を迎えました本年も下記の通り記念事業を始め多彩な活動を実施いたしました。

本年の入館者数は9万1千人と、昭和48年以来、10万人を割り、主たる財源である入館料収入減少による厳しい財政状況であります。さらなる自助努力をすすめ、皆様からご協力いただきながら、設立の趣旨に立脚し博物館の事業活動を推進してまいりますので、よろしくお願い申し上げます。

2. 創立50周年記念事業

1. 創立50周年記念式

創立記念講演「戦国武将酒井忠次とその時代」 小和田哲男静岡
大学教授

2. 記念展示事業

春の記念特別展「庄内ゆかりの名刀展」
秋の記念特別展「武者小路実篤展」

3. 記念出版事業

館報「致道」特集号（第37号）平成12年6月11日発行

創立50周年記念講演録「戦国武将酒井忠次とその時代」 小和田哲男静岡
大学教授

タブロイド版 平成13年2月17日発行

「新編庄内人名辞典」正誤表 平成12年6月11日発行

3. 保存管理事業

1. 文化財建造物の保存管理

重要文化財 旧西田川郡役所 防災設備、電気設備の保守点検

南面2階外部ペンキ塗替

重要文化財 旧渋谷家住宅 防災設備、電気設備の保守点検

南西面屋根差茅の小修理

冬期間の雪囲い、囲炉裏の火たき（薫蒸）

山形県文化財旧鶴岡警察署 防災設備、電気設備の保守点検

東面2階外部ペンキ塗替

漆喰壁部分補修

2. 名勝庭園の保存管理

名勝酒井氏庭園除草、清掃、樹木剪定製姿刈込、防虫剤散布

雪吊り、樹木用支柱取替修理

3. 博物館資料の保存修理

軸装額装資料、古文書の補修、まくりの表装

刀剣類美術品、庄内竿、民具の手入

考古資料の整理

4. 松ヶ岡観覧施設と資料の保存管理

「米づくり用具」収蔵庫の保守点検

施設の運営、資料保存管理

5. その他

構内の御隠殿、収蔵庫、民具の蔵など建造物の

防災設備電気設備の保守点検

屋根瓦補修

4. 展示事業

1.常設展示 歴史資料、考古資料、民俗資料などの
常設展示

の一部展示替えを行った。

2.特別、企画展示

☆生誕100年記念 真嶋北光展 4月 1日～ 4月21日

明治33年鶴岡生れの真嶋北光の大日美術院展入選した大作を中心に
生誕100年を

記念した展覧会。、

☆第54回野鳥週間「全国野鳥・保護の集い」記念展

東北画人が描く「鳥」 4月26日～ 5月23日

庄内八幡町で開催された全国野鳥保護の集いに協賛して、江戸時代東
北諸藩を基盤として活躍した

画人たちの野鳥をモチーフとした秀作22点を展示した。

☆創立50周年記念 日本名刀展シリーズ

庄内ゆかりの名刀展 5月25日～ 6月12日

国宝重要文化財重要美術品など庄内ゆかりの名刀25振、重要文化財の
甲冑等4領を展示。

50周年記念として日本美術刀剣保存協会庄内支部と共催。

☆秘蔵の逸品「潮音堂」と茶道具展 6月 1日～ 8月31日

山形県、山形デステネーションキャンペーンに協賛、重要文化財禅院
額字「潮音堂」を中心に茶道具等を展示した。

☆山本甚作洋画遺作展 6月14日～ 7月 6日

大正4年鶴岡生れ平成8年逝去された山本甚作（東京美術学校卒、太平
洋美術会、示現会）を偲んで、油彩

遺作30点を展示した。

☆野尻佐太右衛門彫刻展 8月 1日～ 8月23日

大正14年温海町生れの野尻佐太右衛門は東京芸術大学入学、石井鶴三
に師事、院展、太平洋展を中心に

造形作品を発表、独特の作品33点デッサン12点を展示した。

☆北海道東北地区現代刀工展 9月 1日～ 9月20日

現在北海道東北地区に在住活躍している現代刀工、堀井信秀、中畑國
光、山口清房、

高橋信房、宮城昭守、上林恒平、藤安将平の新作刀24振りを展示した。

☆創立50周年記念 武者小路実篤展 9月29日～ 10月19日

作家評論活動で著名な武者小路実篤の豊かな人間愛と深い精神を放つ油彩墨絵書等作品37点を展示した。

☆書一明治の三筆一 11月 1日～ 11月20日

明治の三筆、中林梧竹、巖谷一六、日下部鳴鶴の近代日本の書興隆の先駆をなし

各々独自の書風の作品を展示した。

☆小林コレクション 江戸時代の南画家

石井子龍展 12月10日～ 1月30日 (平成13)

江戸時代後期の庄内の南画家、石井子龍は生涯酒を好み、全国の文人たちとも親交が深く、多くの作品を残している。その幽玄な雅趣ある作品38点を展示した。

☆阿部カチ子写真展

「山村のくらしー昭和30年代の田麦俣」展 2月 1日～ 2月25日

阿部氏が昭和33,34年の山形大学在学中朝日村田麦俣多層民家及び生活の調査をした時に

撮影記録した貴重な写真43点(当館に寄贈)を中心に民具を展示した。

☆鶴岡雛物語 3月 1日～ 4月 3日

旧荘内藩酒井家や旧家で所蔵している雛人形雛道具を展観。鶴岡で当館、荘内神社、風間家丙申堂、

銀座商店街、湯野浜辰湯で鶴岡雛物語実行委員会を構成、各所で雛祭りが開催された。

3. グループ展、個展

☆第31回春秋書道選抜展 4月 5日～ 4月10日

☆白甕社会員展 7月 8日～ 7月14日

☆白土会展 7月 16日～ 7月23日

☆今井繁三郎洋画展 7月25日～ 7月30日

☆堀林弥洋画展 8月25日～ 8月30日

☆海野泉洋画展 9月22日～ 9月27日

☆第22回佳陽会日本画展 10月21日～ 10月26日

☆第21回鶴岡書道会会員展 11月22日～ 11月27日

☆第19回田川地区高校美術展 11月29日～ 12月 8日

5. 普及教育事業

1. 講演会

「庄内文人の群像」 木田 元 中央大学名誉教授、哲学者

平成13年3月10日（土）於東京 日本海運倶楽部

2. 列品解説、ギャラリートーク

「庄内ゆかりの名刀展」 小林暉昌氏（東京、刀剣博物館主任学芸員）

平成12年5月28日 於当館

「刀剣よもやま話」 渡邊妙子氏（静岡県三島、佐野美術館館長）

平成12年6月12日 於当館

「祖父実篤を語る」 武者小路実信氏（実篤令孫）

平成12年10月7日 於当館

3. 講座、教室

☆土曜講座

「刀に魅せられて」 上林恒平氏（刀工）

平成12年9月16日 於当館

「やきものの魅力」 本村満文氏（陶芸家）

平成12年10月14日 於当館

「遺跡出土品の整理と調査研究」

眞壁健氏、松田亜紀子氏（鶴岡市教育委員会）

平成12年11月10日 於鶴岡市埋蔵文化財調査整理室

☆少年少女古典素読教室 於当館

共催 鶴岡市中央公民館、致道館文化振興会議

期間 5月～10月 16回開催 延242名

講師細井功、伊藤貞蔵、高橋義順、水野貞吉、富田弘

氏家登志雄、犬塚幹士、酒井英一各氏

☆姉様人形教室於当館

期間4月～11月 16回開催 延197名

講師 太田正子氏

☆七日会、十七会 於当館

期間5月～11月 13回開催 延156名

講師 酒井忠治、犬塚幹士両氏
 ☆日本古典文学講座於当館 共催 黄鷄短歌会
 期間 4月～11月 8回開催 延124名
 講師 東山昭子氏

☆節供ひなまつり 於当館
 期日 4月3日 町内中心子供30名
 内裏ひなつくり、ビデオ鑑賞等

4. 出版 館報「致道 第38号」平成13年2月発行
 特別展図録

5. 広報活動 各種事業について、新聞テレビラジオ等の報道機関に協力
 依頼等に努めポスター等の
 掲示により周知をはかった。

6. 常勤職員の館外普及教育活動
 学芸員を中心に県内各地で講演及び調査活動をおこなった。

財団法人 致道博物館 財務諸表

平成12年度収支計算書

平成12年4月1日～平成13年3月31日

科目	平成12年度予 算	平成12年度決 算	科目	平成12 算
支出事業費	29,900	26,592	収入	
管理費	64,865	63,579	内借入金収	(

			入	
借入返済	60,949	55,289	当期収入計	
当期支出計	156,015	145,460		
当期収支差額	-7,489	388		
次期繰越収支差額	9,620	17,498	前期収支差額	
支出計	165,635	162,958	収入計	

貸借対照表

平成13年3月31日現在

大科目	金額	大科目	金額
流動資産	18,278	流動負債	53,279
固定資産	808,080	固定負債	62,779
		正味財産	710,300
		(内基 本)	(427,762)

資産合 計	826,358	負債及び 正味財産 合計	826,358
----------	---------	--------------------	---------

単位：千円

正味財産増減計算書

平成13年3月31日現在

科目	金額	科目	金額
資産減少額	10,809	資産増加額	10,746
負債増加額	57,892	負債減少額	56,304
正味財産減少額	68,701	正味財産増加額	67,051
当期正味財産減少額	-1,650		
前期繰越正味財産額	711,950		
期末正味財産額	710,300		

単位：千円

「計算書類に対する注記」

1. 重要な会計方針

固定資産の減価償却について

建物、設備、備品等について定額法による減価償却を実施

引当金の計上基準について

退職給与引当金は期末退職給与の要支給額に相当する金額を計上

資金の範囲について

資金の範囲には現金、預金、未収金、立替金、仮受金を含める。

なお前期末及び当期末残高は3.に記載の通りである。

2. 基本財産の増減及びその残高

前期期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
419,592	8,170	0	427,762

単位：千円

3. 次期繰越収支差額

	前期末残高	当期末残高
流動資産	17,984	18,278
流動負債（未払消費税）	873	779
次期繰越収支差額	17,110	17,498

固定資産取得価格、減価償却累計額及び当期末残高

取得 額	減価償却累計 額	当期末残 高
456,0 34	157,032	299,001

収益部門
貸借対照表

平成13年3月31日現在

資産の 部	金額	負債及び資 本の部	金額
流動資 産	2,24 1	流動負債	13,084
		資本	△10,8 43
		(内当期利 益)	(80)
資産合 計	2,24 1	負債及び資 本合計	2,241

単位：千円

損益計算書

平成12年4月1日～平成13年3月31日

売上高	20,549
売上原価	15,156
営業費用	5,167
営業利益	225
営業外損益	25
税引前当期利益	251
法人税等引当	170
当期利益	80
前期繰越損失	△11,224
当期未処分損失	△11,143

単位：千円